

### 連合海区の設定は……

**(問)** 現在、牛深の漁業は漁業調整規則等により漁場が制限され漁獲が低下してきていますが、その打開のため、関係方面と協議の上、連合海区を設定する考えはありませんか。

**(答)** 本県の中型まき網漁業の漁場は、せまい天草海に限られ、大型化した現在のまき網漁船では長崎や鹿児島海域へ入るのが実情で、限られた海域での操業ではその漁獲の振わないのは当然だと思えます。

このような不合理な問題は、本県だけでなく、いか、さんま等全国的にも例が多いため漁業制度調査会がいろいろ漁業実態を検討した結果、今年三月政府に対して答申を提出しました。

**(問)** 水産庁では早速、この答申に基づいて法律の改正を急いでいます。その要綱のうち関係のあるものを一、二ご参考までにお知らせしますと、第一に中型

大海区制の問題は、県も関係当局へ機会あるごとに要望していますし、近く法律の改正がある

### 街路事業の促進を……

**(問)** 牛深市は地形の特性から市街地がせまく、人家が密集しているうえに水産都市として産業経済の面からも交通量が多いところですが、道路が極めてせまく、未改良の部分が多いために交通の障害となつております。

このため、三十五年度から真浦—古久玉線の街路改良事業に着手しましたが、予算等の関係で遅々として進まない現状にありませぬ。何卒当局の特殊事情を考慮され、事業の促進をお願ひ願ひませんか。

**(答)** 牛深市の街路計画では、まづ道路の拡幅(幅員を七呎から八呎とする)を重点とし、次いで改良と舗装を行なうこととしております。実施については短期完成が最も望ましいのですが、道路整備事業は政府の新道路整備五カ年計画によつて行なわれ、この計画では三十六年度から四十年までの五カ年で一級国道の改良九六・九〇、舗装九五・八〇を最高として二級国道、府県道、市町村道とそれぞれ整備計画がたてられております。



(写真)牛深市の中心街

このことが聞きたい・牛深市  
れば、私たちの希望もかなえられるものと思われませぬ。

他産業交通面の飛躍的な改善が期待できるものと思われませぬ。三十七年度の道路整備予算はオリンピックを控え、地方一般道路の整備には余り多くの期待はできそうにない状態にありますが、事業決定になつた加世浦古久玉線は計画どおり三十九年度までには完成できるよう努力したいと思つております。

### 道路の改修と舗装を……

**(問)** 郡内の道路は火山灰の特殊土壌であり、その上最近は大規模観光バスが阿蘇郡へ集中する関係上、道路の損耗が特に激しく、補修がこれに追いつかない現状です。道路機械の増配と路線職員の担当区間短縮などで補修整備をお願いいたします。

また特に次の三路線の改修及び舗装を促進されるよう願ひます。  
(イ)熊本から別府へ通ずる道路(二級国道熊本—大分線)  
(ロ)内牧から久留米へ通ずる道路(日田—阿蘇線)  
(ハ)立野から高千穂、宮崎へ通ずる道路(高千穂—大津線)

**(答)** 阿蘇地方は観光ブームにのつて近年交通量が急激に増加していますが土質が火山灰であるため降雨ごとに損傷が甚しく、その維持に苦慮しております。又川砂利の生産が少なく高価なため、現在は四台

(阿蘇郡(町村長))

|      |        |
|------|--------|
| 一宮町  | 甲斐重喜氏  |
| 阿蘇町  | 斐義夫氏   |
| 小国町  | 川崎義夫氏  |
| 南小国町 | 河津義夫氏  |
| 小国町  | 津野義夫氏  |
| 産山町  | 井野武雄氏  |
| 波野村  | 古沢武雄氏  |
| 蘇陽町  | 片岡武雄氏  |
| 高森町  | 今村武雄氏  |
| 山室村  | 山室武雄氏  |
| 藤室村  | 藤室武雄氏  |
| 久木野村 | 久木野武雄氏 |
| 長陽村  | 荒木武雄氏  |
| 西原村  | 三蔵武雄氏  |

(イ) 熊本—大分線 現在改良中であり、昭和四十年頃までに熊本—一宮間の改良、舗装を完了させたいと考えております。  
(ロ) 日田—阿蘇線 突角の多かつた大観峯付近は昭和三十

### 観光面の助成を……

**(問)** 阿蘇郡を訪れる観光客の大部分は、火口見学を終えると、宿泊地は他に求めて阿蘇を去つていくという実情です。地元としては、阿蘇の真価を更に高めるため一層努力したいので、これら観光客の受入れ施設の整備に必要補助金並びに資金のあつ旋について、格段のご配慮方お願いいたします。

**(答)** 阿蘇を中心とした観光地の諸施設が質的にも量的にも早急に整備充実されなければならぬことは当然のことであり、最も緊急事だと考えられます。すなわち、この為にさきに阿蘇、熊本、天草地域を主体とした観光診断を実施し、これを資料として、診断地域を主体とした観光計画を立てる予定にしております。

### 畜産と牧野改良……

**(問)** 立地条件を生かした畜産振興をはかり、農業経営の安定と合理化を行なうたいが……  
特に牧野改良について県の考え方を聞かせ下さい。

**(答)** 阿蘇郡における約四万六千畝の牧野は、その面積においてはもちろん、集団的に存在することで全国屈指であります。しかし、その利用方については昔からの習慣で、掠奪的な採草と放牧で、全く新しい知識技術は導入されておられません。現在まで約八百畝の改良草地があるが、その大部分は利用管理の失敗から起きた芳しくない草地となつております。最近では、改良草地の経済効果は、平均して収量及び生産額で自然草地の五ないし六倍ともいわれております。すなわち、ラジノクローバ等の試験では、一アール当り十萬円位になるようでした。上手な管理を行なうことによつて十年以上は更新の必要はなく、単位面積当りの労働報酬は、すこぶる高く、麦等の比ではありません。

そこで県は一貫した指導体制の確立をはかり、改良草地の利用目的を放牧方式を主とし、採草方式を従とした開発を採用し、家畜飼養規模の拡大と、共同もしくは協業化を進める考えであります。年次別には毎年四百五十畝の人工草地を対象にこれらの施設を完備していきたいと思ひます。